

生涯学習課

本市スポーツの底上げを目指す
レベルアップスポーツ教室

市は本年度新たに、市内小学5・6年生を対象にした『庄原市レベルアップスポーツ教室競泳教室』を7月1日からスタートし、この日から4週連続毎週水曜日に西城温水プール「水夢」で開催しました。

参加した延べ83人は、庄原市少年少女水泳記録会に向け、講師のさぎりスイミングクラブ代表金山佳生さんから、水泳の基本技術や競泳技術を学びました。

また、8月1日には恒例のバレーボール教室を市総合体育館で開催し、市内小学生63人が参加。マツダ女子バレーボール部の皆さんから、パスやレシーブの基本技術などを学びました。

バレーボール教室に参加した若林穂実さん（庄原小5年）は「スパイクの打ち方が勉強になりました」と話していました。

今後はフットサル教室、スキー教室を開催する予定です。



生涯学習課

人生の節目に飛躍を誓う
庄原市成人式

平成27年度庄原市成人式が8月15日、庄原市民会館で開催されました。

今年度は平成7年4月2日から平成8年4月1日までに生まれた人が対象で、市内在住者と本市出身者342人のうち279人が出席しました。

はじめに木山耕三市長が「庄原で育ち体験したことを原動力として発揮し、活躍してほしい」とあいさつ。

新成人を代表して前岡航さん



1 決意表明する前岡さん
2 西田さんが新成人を激励
3 祝賀パーティーを楽しむ新成人

社会福祉課

70年の節目に不戦を誓い、平和を願う
庄原市戦没者追悼式・平和祈念式典



戦没者に哀悼の意を表し、恒久平和を祈念する「庄原市戦没者追悼式並びに平和祈念式典」を8月21日、庄原市民会館で行い、遺族をはじめ、来賓や一般の方、児童生徒など約700人が参列しました。

式典の式辞で木山耕三市長は、「戦争の記憶を次世代に継承し、戦争の惨禍で誰も苦しむことのない時代をつくっていくことが我々の使命である」と恒久平和への思いを述べました。

また、戦没者のひ孫にあたる高町の山本規正さんが「若い世代の者が、絶対に戦争を起こさない平和な国であり続けることを誓います」と、平和の誓いを述べました。

続いて、参列者全員で黙祷、献花を行い、本市出身の戦没者2923人の冥福を祈りました。

追悼吟詩、口北小学校児童の合唱、口和本の会による朗読、東城高校吹奏楽部による演奏も行われ、改めて平和の大切さを心に刻みました。

1 東城高による吹奏楽演奏
2 口北小児童による合唱
3 平和の誓いを述べる山本さん
4 献花する小学生
5 被爆体験記を朗読する口和本の会



商工観光課

庄原の里山を巡る
「しょうばり地里山健康歩き講座」スタート

市と市観光協会は、「しょうばり地里山健康歩き講座」を6月20日にスタートしました。

この講座は、「健康」「旅」「山歩き」の専門家で、国内外で活躍している清水正弘さんをガイドに、神話や伝説の物語が数多く残された本市の里山を巡る全6回のツアー企画です。

6月20日、7月12日の比婆山、8月8日の吾妻山を巡るコースに延べ約90人が参加しました。参加者は「庄原の里山ならではの自然風景を味わいながら散策を楽しめた」と話していました。

今後、9月26日(土)に葦嶽山、11月7日(土)に帝釈峽、来年2月11日(木・祝)に比婆山で実施します。参加費は、食彩館しょうばりゆめさくら発着で1人5千円です。参加をご希望の方は、ひろでん中国新聞旅行(☎082・543・2022)へお申し込みください。



老杉群に囲まれた熊野神社を散策

東城支所

町ぐるみで支えあいの仕組みを考える
地域包括ケア研修会を開催



研修会の様子

東城自治振興区と共催する「地域包括ケア研修会」を7月23日、東城自治振興センターで開催し、自治振興区や自治会役員を含め69人の市民が集い、意見を交わしました。

広島県地域包括ケア推進センター森下浩子さんの助言のもと、「高齢者を支える世代がさらに減るため、福祉や介護の専門家だけでは、今後の超高齢社会を乗り切ることができない」「介護保険制度は大切な仕組みだが、これを維持して行くためには、自助だけでなく、地域の中でお互いに支え合っていく、互助がますます重要になる」との認識に立ち、参加者全員で学び合いました。

参加者からは「近隣にあいさつや声かけをし、人とのつながりを続けることが大切」といった声が聞かれました。